

環境マネジメント実習 2005年度個別感想集

平成17年9月26日
神戸山手大学 担当講師 小野木正人

1. 一番印象的だったこと

- リサイクルはよいことだと思っていたが、コストの問題もあり、環境のためにならないこともあると知って驚いた。(3人)
- 日本とドイツの文化の違い。環境に対する意識があまりにも違っていた。(4人)
- ドイツなどのデポジット制や、買い物の仕方。(2人)
- ヨーロッパは全て人工林だということ。
- ドイツ人と日本人のゴミに対する考え方の違い。ドイツ人が日本人の10分の1しかゴミを出さないこと。

2. 得たもの、気づき

- リサイクルを推進する流れがあるが、それは必ずしも正しくはなく、正しくなくても力を持つのだということ。
- 日本はまず損得を考えすぎること。
- 何をするにも、政治や国民の意識を変えていかねばならないということ。
- ヨーロッパでは国全体で環境問題に取り組んでいるのに、日本は地区単位でやっているため、対処しきれていないのではないか。

3. その他の感想

- 日本でも、ヨーロッパのようにペットボトルをリユースできると思う。最初はコストがかかるかも知れないが、将来的にはそのほうがよいのに、なぜ日本は積極的に実践していないのか疑問だ。
- スライドなども多く、思っていたよりもわかりやすく面白い授業だった。大変興味が持てた。(8人)
- 将来、ISO14001 の内部環境監査の仕事をしたくてこの授業を取った。大変ためになった。